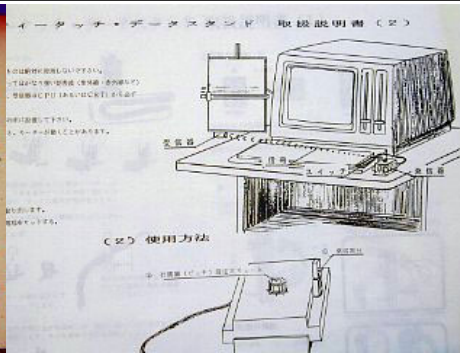


## LCD Monitor改良



その昔の [No.4 LCD Monitor](#) のアーム式のモニターですがスタンドのアームが液晶の重さをささえきれなくて液晶を固定するにはけっこう締め上げないと頭が下がってきて実用にはちょっと不便でした。今回はその改良版で、ついでにSX270のモニターにも使えるようにB-200KでアナログVGA入力にも対応しました。まあ普通のXGA液晶モニタにもなるわけですが、比較的コンパクトで使い勝手はなかなかと思っております。

### モニタのアーム

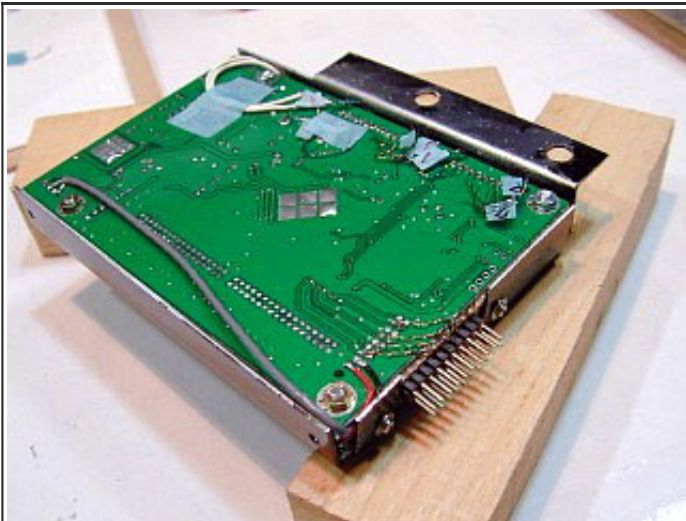


モニターのアーム、実はこれを利用したものです。大昔のデータ入力用スタンド説明書の絵(5"フロッピードライブ)で古さがわかる(笑) オクで@500でしたが、未使用品で電池パッケージの封も開いてませんでした。電池はさすがに使えませんでした...

### B- 200K 変換基盤



アナログVGA入力/LVDS変換のB-200K基盤です。今回最小に作りたかったので基盤サイズで実装することになりました。アルミ1tでケースを作ります。写真の部分と裏蓋(写真なし)の2枚で作ってます。



スイッチ基盤とVGAコネクタ基盤  
写真のB-200K基盤との配線は、ポリウレタン線で直結です。組み立てながらの配線となるのでちょっと面倒でした。写真、手前のピンヘッダはLVDS出力、液晶3.3V、インバータ電源、インバータON/OFF信号の接続用です。



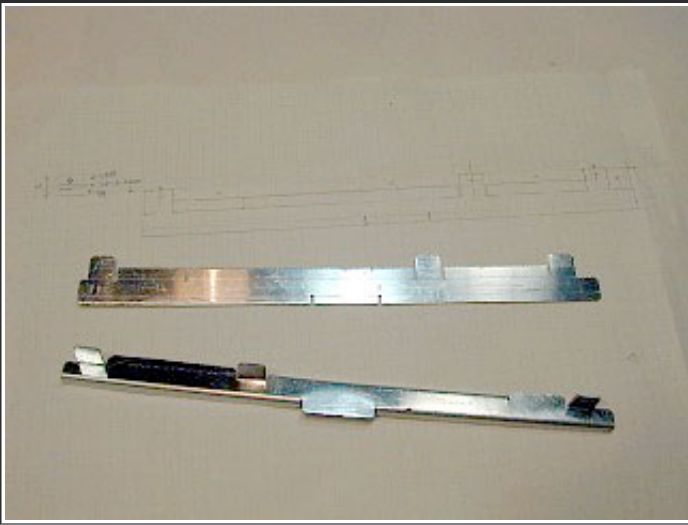
アームの黒色と合わせるため、アクリルスプレーで黒色にしました。

データ入力用スタンドの固定ねじを使って共締めして使います。





### 液晶パネルの固定



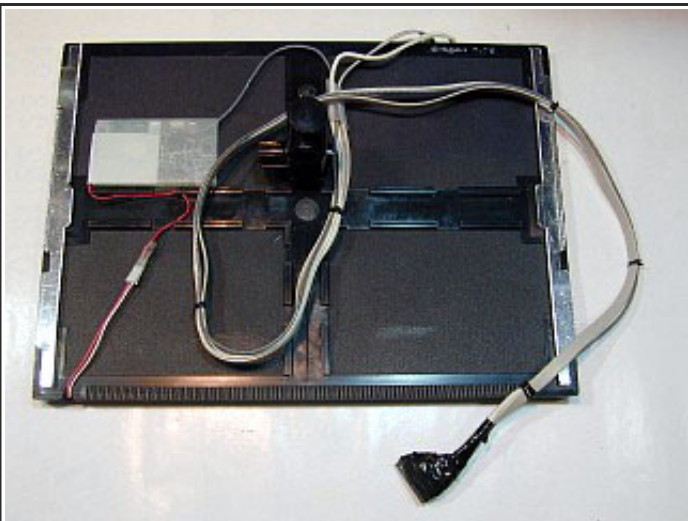
液晶パネルの取付けは写真のステーを自作1tアルミ板からですが強度を出すため周辺数mmを折り曲げてます。折り曲げる前はペラペラですがまああの強度になります。



元のデータ入力用スタンドの台とほぼ同じ大きさの液晶パネルを使っています。13.3" XGA (TORISAN、LM133XG07A)の液晶パネルです。幅はちょっとスタンドの台の大きいのでこの差を使って先のステーを取付けます。ガタが出ないようにすきまテープ片を間に入れてます。



数cmのスリットを開けるためピンバイスで下穴を開けたのちドリルでつないでます。

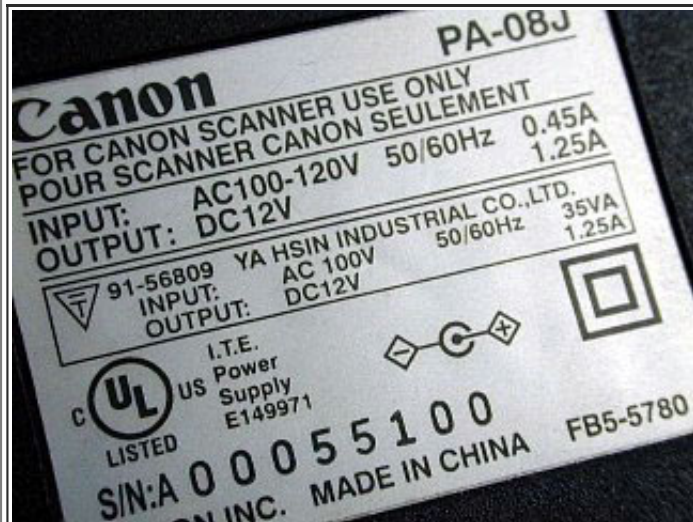


液晶パネルを取り付けた状態自作ステーは写真の両サイドに使っています。インバータは適当にくるんで両面テープで取り付けてます。液晶パネルへのLVDS配線は直接はんだ付けです。

### 電源

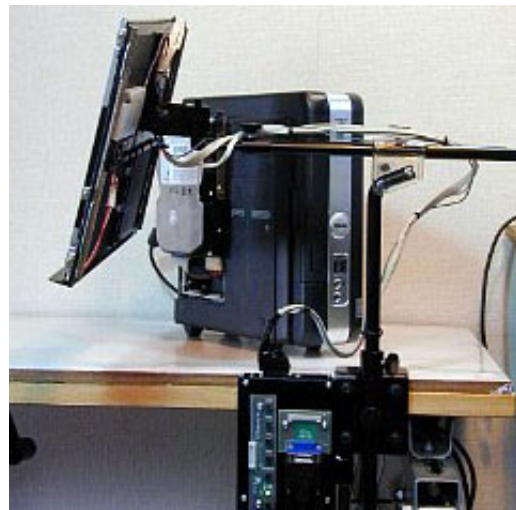
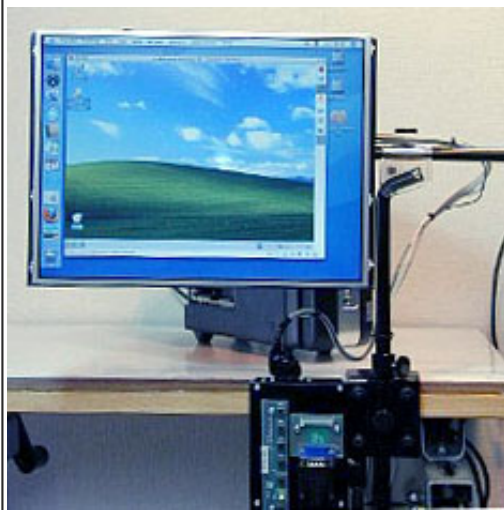
B-200Kの電源は+12Vですが、今回の液晶パネル含めて消費電流を測定すると1A弱でした。手持ちで適当なACアダプタ探してこれにしました。



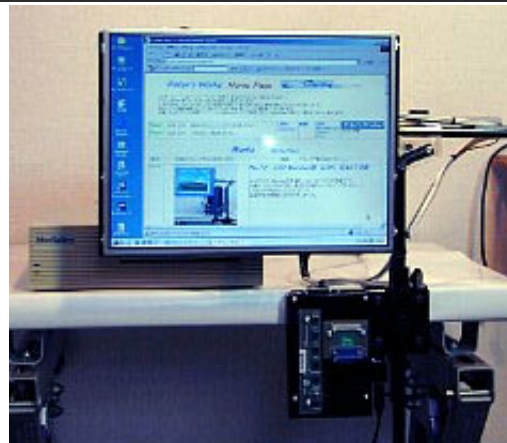


何用だったのか全くわかりませんが  
訂正: 写真に Scanner って書いてありますね。(^\_^A  
Canon PA-08Jと記載のあるもの。  
DC12V 1.25A なのでOKでしょう。  
このタイプによくあるトランス式の重たいやつでなく軽いです。  
おそらくDCDC内臓タイプと思います。

#### モニター側完成



このデータ入力用スタンドけっこう使い勝手いいです。写真のようにクルクルまわせます。高さも可変にできます。



B-200KとのLVDS接続部を外して[No.5 mini Mac Win version](#)の本体と直結したテスト写真です。

2007. 4. 24記

[TOP](#)

[LCD Monitor改良](#)

[Dell SX270改造](#)

[SX270のClock Up](#)